

東京校

氏名 M. O.

出身大学 東京医科大学

我々医学生が成さなければならぬ事は、国家試験に合格する事なのだろうか。はたまた医学というものを学ぶ事にあるのだろうか。

各大学で合格率のみを競いあう昨今、MACではその内容の細部にこだわり、医師として当然知らなければならぬ知識、そして心構えを常に意識した講義内容となっていた。

国家試験は結果論である。例え問題が悪かろうが、難しかろうが、受かった人間が医療行為を行う。それ以上でもそれ以下でもなし。しかし医学はそんな単純なものではない。一時間MACに通って真にそう思う事が多かった。現役では素通りしていた事がここではそれをより深く多面的にと様々な角度から考察する。一見無意味のように見える事が積み重なり、最後の最後で、正解に導く道となる。嘘のように本書の読下、この真偽を確かめるには Dr.東田、Dr.中山、Dr.K の講義を聞く以外にはないと思える。

我々は国家試験に合格すると同時に医学を学ぶなければならぬ。